

トキの野生復帰と、環境に配慮した農業を応援する 「佐渡トキ応援お米プロジェクト」 314万9,822円を佐渡市へ寄付

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋敏夫)と会員生協(関東信越の6生協)は、佐渡市が進める環境に配慮した農業(生物多様性農業)の推進やトキの野生復帰の支援に役立ててもらうための活動『佐渡トキ応援お米プロジェクト』で集まった寄付金314万9,822円を、佐渡市に寄付いたしました。同プロジェクト発足からの寄付金額の合計は、12年間で3,274万1,592円となりました。

10月8日(土)、佐渡市新穂青木の圃場にて寄付金贈呈式を執り行いましたのでご報告させていただきます。コープデリグループを代表して、コープデリにいがたの登坂康史理事長が佐渡市の渡辺竜五市長とJA佐渡の堅野信理事長に目録を贈呈しました。



左から、JA 佐渡 堅野信理事長、佐渡市 渡辺竜五市長、
コープデリにいがた 登坂康史理事長、コープデリ連合会 永井伸二郎副理事長

— 『佐渡トキ応援お米プロジェクト』について —

2010年4月、佐渡市、コープにいがた、コープネット(当時)の3者で「佐渡トキ保護活動」を目的とした連携に関する協定を締結し、立ち上げたプロジェクトです。宅配サービスと店舗※で販売している「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリ」(2kg・5kg企画、無洗米もあります)の米1kgにつき1円、「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリで作った焼おにぎり」1点につき1円、「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリで作ったごはん」3パックつき1円を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付しております。佐渡の美味しいお米を食べることで、トキと共生する米づくりを支えています。

※コープデリにいがたに店舗はございません。

2014年に60羽、2018年に220羽、2022年に478羽の野生下のトキ定着の目標を達成するなど、トキの野生復帰は順調に進んでいます。コープデリグループは、これからも生きものにやさしい米作りを組合員の皆さまと一緒に応援し続けます。

■寄付に繋がる商品



「CO-OP 産直 新潟佐渡コシヒカリ」
「CO-OP 産直 無洗米 新潟佐渡コシヒカリ」

「CO-OP 産直 新潟佐渡コシヒカリで作った焼おにぎり」

「CO-OP 産直 新潟佐渡コシヒカリで作ったごはん」

新潟佐渡コシヒカリとその加工品は、コープデリの産直商品です。コープの産直は、生産者・生協・組合員がつながり、安全性が確保され、おいしさと環境配慮を兼ね備えた、生い立ちがはっきりわかる農産物をお届けする取り組みです。

■寄付の実績

32,741,592 円(2010 年度～2022 年度)

■『佐渡トキ応援お米プロジェクト』詳細(以下、URL ご参照)

<https://sustainability.coopdeli.coop/four-project-toki.html>



■コープデリグループ SDGs 重点課題推進スローガン「未来へつなごう」

コープデリグループは SDGs 重点課題の達成に向けて、「未来へつなごう」のスローガンのもと、組合員・消費者、生産者・取引先、行政・他団体、役職員の連携を深め、SDGs の取り組みに関する様々な事業・活動を展開しています。『佐渡トキ応援お米プロジェクト』は、「未来へつなごう」の取り組みの一つです。



コープデリ生活協同組合連合会 概要

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13

【理 事 長】 土屋 敏夫

【会 員 生 協】 生活協同組合コープみらい
いばらきコープ生活協同組合
とちぎコープ生活協同組合
生活協同組合コープぐんま
生活協同組合コープながの
生活協同組合コープデリにいがた

埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5
茨城県小美玉市西郷地 1703
栃木県宇都宮市川田町 858
群馬県桐生市相生町 1-111
長野県長野市篠ノ井御幣川 668
新潟県新潟市西区山田 2309-7

理事長 新井 ちとせ
理事長 柴崎 敏男
理事長 塚原 政雄
理事長 大貫 晴雄
理事長 太田 栄一
理事長 登坂 康史

※コープにいがたとコープクルコは 2022 年 3 月 21 日に組織合同(合併)し、コープデリにいがたになりました

【総 事 業 高】 6,190 億円(7 会員生協事業高計) ※2021 年度

【組 合 員 数】 524 万人(会員生協組合員計) ※2022 年 9 月 20 日現在

【ホーム ページ】 <https://www.coopnet.jp/>